

(様式 3 号)

活 用 状 況 報 告 書

2026 年 8 月 16 日

岡山県知事 殿

おかやま国際協力大使 氏 名 河上 理加
赴任国 マレーシア

岡山県民の皆様から提供いただいた物品（物品名：福祉用具・ヘッドギア、ポジショニングクッション、ミトン）は、次のとおり活用しておりますので、報告します。

記

1. 寄付物品の活用状況

岡山県民の皆様、企業の皆様及び本制度に関わってくださった皆様の協力により、ヘッドギア、ポジショニングクッション、ミトン等、約 30 点の福祉用具を寄付いただいた。寄付いただいた物品は、配属先である Taman Sinar Harapan Jitra（タマン・シナル・ハラパン・ジトラ：希望の園）において、子どもたちの身体の保護、ポジショニング、拘縮・褥瘡予防等を目的として活用している。

特に、これまでポジショニングクッションの代わりにオムツを重ねたり、複数のタオルを使用したりしていた場面では、寄付いただいたポジショニングクッションを活用することで、より適切なポジショニングを行うことが可能となった。

また、ヘッドギアやミトンについても、子どもの身体状況や行動に応じて使用し、安全に生活するための環境づくりに活用している。

2. 寄付をきっかけとした現場での広がり

今回の寄付において、物品を増やすことだけでなく、福祉用具をきっかけとして、子どもたちのケアについて現場で考え、話し合う機会を増やすことを重視した。

例えば、ミトン一つについても、「なぜ必要なのか」「いつ使用するのか」「いつ外すのか」「どのようにすれば子どもの身体を守ることができるのか」といった点について、現地スタッフとともに考える機会をつくった。

その後、副施設長がマレーシア国内で購入できるポジショニングクッションを探し、施設として購入するなど、寄付物品をきっかけに、施設内での福祉用具の活用が広がった。また、スタッフから物品に関して相談やアイディアを共有する機会もあり、寄付物品を参考に、現場のスタッフ自身が子どもたちの安全や身体の保護について考え、工夫する姿にもつながった。（写真 1）

3. 研修・スタッフとの学び

寄付いただいた物品を実際に使用しながら、ポジショニング、拘縮予防、身体の保護等について、介助員を対象とした研修会を実施する機会をいただけた。

研修では、理学療法士から一方的に知識を伝えるのではなく、日々子どもたちと生活している介助員の経験を共有してもらうことを重視した。

経験豊富な介助員が講師となり、おむつ交換、食事介助、ベッドメイキング等、日々のケアについて、実践を交えながら共有した。

現場を最もよく知るのは、毎日子どもたちと生活している介助員である。そのため、それぞれの経験や工夫を持ち寄り、互いに学び合う機会とすることで、福祉用具の使用方法だけでなく、子どもたちの身体を守るためのケアについて考えるきっかけとなった。（写真2）

4. 施設運営面での効果

これまでポジショニングを行う際には、オムツやタオルを重ねて使用することがあった。介助員からは、「お風呂の際に使用するタオルが不足する」「オムツが破れて再利用できなくなる」といった意見もあった。

また、施設では洗濯を清掃部門に依頼し、重量に応じて費用を支払っている。そのため、タオルの使用量が増えることは、洗濯にかかる費用の増加にもつながる。

ポジショニングクッションを活用することで、タオルやオムツの使用量を減らし、今後、施設における洗濯等のコスト軽減にもつながることが期待される。この点については、施設長にも報告した。（写真3）

5. 寄付を通じた交流

令和8年5月の一時帰国時には岡山県を訪問し、寄付いただいた物品を実際に見せていただき、ご支援くださった方々や企業の方々と直接話す機会を得た。

その際には、子どもたちからのお礼として手形で作った花束を用意しお渡しすることができた。

今回の寄付は、物品を日本からマレーシアへ届けるだけでなく、岡山県の皆様と現地の子どもたちやスタッフをつなぐ機会となった。（写真4）

6. 今後の活用

今後も、寄付いただいた福祉用具を子どもたちの身体状況や生活場面に応じて適切に活用するとともに、ポジショニングや身体の保護、拘縮予防等について、現地スタッフと継続して考えていく。重度の心身障害がある子どもであっても、自らの意思を持ち、その意思が尊重され、心身ともに健康に生活し続けられる環境づくりに取り組む。

理学療法士の役割は、リハビリ室で立ち上がりや歩行の練習を行うことだけではない。子どもがベッドの外へ出て、身体機能の先にある人と関わり、社会とつながる機会を持てる環境を整えることも、理学療法士の重要な役割であると考えている。

今回寄付いただいた福祉用具についても、そのための環境づくりの一つとして活用していく。

残りの任期においても、現地スタッフとともに考え、実践しながら、一人ひとりの尊厳が守られる環境づくりに取り組んでいきたい。

（写真1）話し合い



物品到着



施設購入のクッション



(写真 2) 研修会



(写真 3) 施設長への報告（全職員グループメッセージ内より引用）

以下一部翻訳

2026 年 7 月 1 日に、6 月に新しく着任された新施設長へ、JICA ボランティア隊員の河上 理加より寄付や活動に関する報告が行われた。

これらの寄付は TSHJ (タマン・シナル・ハラパン・ジトラ) の入所児に使用されるものである。

**TAMAN SINAR HARAPAN
JITRA KEDAH**
JABATAN KEBajikan MASYARAKAT MALAYSIA

**LAPORAN RINGKAS
PENYERAHAN SUMBANGAN PERALATAN
PEMULIHAN DARI JEPUN**

TARIKH
1 Julai 2026
(Rabu)

MASA
4.30 Petang

TEMPAT
Taman Sinar Harapan
Jitra, Kedah

1. TUJUAN

Laporan ini disediakan bagi memaklumkan penyerahan sumbangan peralatan pemulihan daripada rakan kolaborasi di Jepun kepada Taman Sinar Harapan Jitra (TSHJ).

2. RINGKASAN

Pada 1 Julai 2026 (Rabu) jam 4.30 petang, telah berlangsung sesi penyerahan sumbangan peralatan pemulihan yang dihantar oleh rakan kolaborasi TSHJ di Jepun. Penyerahan telah diterima bagi pihak institusi sebagai simbolik penghargaan terhadap hubungan kerjasama yang telah terjalin.

Sumbangan ini merupakan hasil jalinan kerjasama antarabangsa yang telah disusunkan oleh Rika Kawakami (JICA Volunteer) bersama beberapa institusi dan organisasi di Jepun. Antara barangan yang diterima termasuk peralatan terapi dan pemulihan yang akan dimanfaatkan dalam pelaksanaan program rehabilitasi serta meningkatkan kualiti perkhidmatan kepada penghuni OKU di TSHJ.

Semoga hubungan kerjasama ini terus diperkukuhkan dan memberi manfaat kepada perkembangan perkhidmatan rehabilitasi serta kesejahteraan penghuni Taman Sinar Harapan Jitra.

3. DOKUMENTASI PENYERAHAN

4. PENUTUP

Adalah diharapkan sumbangan ini dapat dimanfaatkan sepenuhnya bagi menyokong pelaksanaan program pemulihan dan meningkatkan kualiti perkhidmatan serta rehabilitasi penghuni TSHJ.

Terima kasih!

Dibuatkan oleh:
Nor Fitriana binti Ismail
Juranghul Perubatan (Fisioterapi) US
Taman Sinar Harapan Jitra, Kedah

Berangka foto bersama:
Harapan dan masa depan yang lebih cerah untuk anak-anak kami bersama.

クッション使用前はオムツやタオルを重ねて使用



クッション、ヘッドギア、ミトン仕様の様子



(写真4)

